



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年9月27日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
 コード番号 7611 URL <http://www.hiday.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048 (644) 8030
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 平成25年11月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	15,839	8.7	2,051	1.6	2,043	1.3	1,221	4.4
25年2月期第2四半期	14,566	10.2	2,019	15.7	2,018	15.8	1,170	38.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	87.85	—
25年2月期第2四半期	84.17	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	19,737	14,438	73.2
25年2月期	18,960	13,481	71.1

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 14,438百万円 25年2月期 13,481百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	16.00	—	19.00	35.00
26年2月期	—	18.00	—	—	—
26年2月期（予想）	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	6.7	3,740	1.4	3,690	1.7	2,080	2.5	149.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	13,936,792株	25年2月期	13,936,792株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	31,411株	25年2月期	30,931株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	13,905,562株	25年2月期2Q	13,907,493株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、平成25年10月1日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策への期待感から円安の進行や株価の上昇、企業収益の改善など明るい兆しが見られました。

外食産業においては、一部では個人消費の回復の動きも見られるものの、消費者の節約志向はまだ強く、異業種との競争激化もあり厳しい状況でありました。

このような環境のもとで、当社は顧客ニーズに合致する新メニューの投入、サービス水準の向上や新規出店を行い、収益拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、22店舗出店(東京都11店舗、埼玉県3店舗、神奈川県6店舗、千葉県2店舗)し、退店3店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は333店舗となりました。

販売面においては、夏の定番商品である「黒酢しょうゆ冷し麺」「和風つけ麺」や「塩麺つけ麺」、6月には有機大豆の豆乳を使用した「豆乳冷し麺」の投入を行いました。サービス水準向上に向けた取り組みとして、調理・接客研修などを継続的に実施しました。既存店の動向としては、猛暑により夏メニューなどが好調に推移したこともあり、当第2四半期累計期間の売上高前年同期比は102.0%となりました。

生産・原価面につきましては、食材の購入価格の上昇や昨年8月より実施している生ビールの販売価格引下げなどの影響により、原価率は27.4%となり、前年同四半期比0.6ポイント上昇しました。昨年10月より行田工場の増設を開始し、本年6月から新たに導入した製造ラインで餃子、カット野菜の生産を行っております。引き続き既存部分の改修工事を行っており、10月には工事終了の予定であります。

販売費及び一般管理費につきましては、光熱費の増加や、新店舗が前年同四半期よりも12店舗多い22店舗となったことにより初期費用が増加し、対売上高比は59.7%(前年同四半期は59.4%)となりました。

この結果、売上高は158億39百万円(前年同四半期比8.7%増)、営業利益は20億51百万円(前年同四半期比1.6%増)、経常利益は20億43百万円(前年同四半期比1.3%増)と増収増益になりました。

特別損失には退店による減損損失など合計で19百万円を計上しましたので、四半期純利益は12億21百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、197億37百万円となり前期末に比べて7億76百万円増加いたしました。これは主に新規出店・工場増設工事に伴う有形固定資産の増加によるものです。

負債合計は52億98百万円となり前期末に比べて1億80百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の約定返済と前事業年度末に計上した未払金の支払に伴う減少によるものであります。

純資産合計は、144億38百万円となり前期末に比べ9億57百万円増加し、これらの結果、自己資本比率は73.2%(前期末71.1%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は17億89百万円(前年同四半期は16億74百万円)となり、前年同四半期に比べて1億15百万円の増加となりました。これは、新規出店や行田工場増設工事等に伴う減価償却費が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は11億87百万円(前年同四半期は6億68百万円)となりました。これは、新規出店や行田工場増設工事等に伴う有形固定資産の取得による支出20億10百万円(前年同四半期は6億46百万円)、敷金及び保証金の差入による支出2億24百万円(前年同四半期は1億31百万円)などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は4億65百万円(前年同四半期は4億70百万円)となりました。これは長期借入金の返済1億40百万円(前年同四半期は1億72百万円)、配当金の支払額2億64百万円(前年同四半期は2億32百万円)などによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期業績予想については、平成25年4月5日に開示した数値からの変更はありません。なお、当第2四半期末の剰余金の配当(中間配当)は、予想として公表しました1株当たり18円といたしました。期末配当は、1株当たり18円を計画しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ19,317千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,492,362	3,592,384
売上預け金	150,024	186,232
売掛金	20,521	23,581
店舗食材	110,631	137,751
原材料及び貯蔵品	19,361	23,205
その他	544,552	581,579
流動資産合計	5,337,454	4,544,737
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,208,754	9,932,667
減価償却累計額	△3,660,043	△3,858,772
建物(純額)	4,548,710	6,073,894
構築物	63,349	103,489
減価償却累計額	△30,612	△35,831
構築物(純額)	32,736	67,657
機械及び装置	725,786	1,570,839
減価償却累計額	△316,899	△410,008
機械及び装置(純額)	408,887	1,160,830
車両運搬具	3,596	6,840
減価償却累計額	△3,516	△2,844
車両運搬具(純額)	79	3,995
工具、器具及び備品	1,144,231	1,262,693
減価償却累計額	△827,623	△900,102
工具、器具及び備品(純額)	316,608	362,591
土地	1,689,493	1,689,493
リース資産	616,387	609,436
減価償却累計額	△376,312	△426,165
リース資産(純額)	240,074	183,270
建設仮勘定	854,509	43,981
有形固定資産合計	8,091,100	9,585,715
無形固定資産	79,429	70,721
投資その他の資産		
投資有価証券	83,190	85,251
敷金及び保証金	4,049,169	4,142,142
その他	1,342,061	1,330,646
貸倒引当金	△21,569	△21,449
投資その他の資産合計	5,452,851	5,536,590
固定資産合計	13,623,382	15,193,027
資産合計	18,960,836	19,737,764

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	624,823	718,454
1年内返済予定の長期借入金	250,500	180,500
リース債務	118,606	114,667
未払法人税等	953,715	850,605
賞与引当金	228,704	244,182
その他	1,710,684	1,682,363
流動負債合計	3,887,033	3,790,774
固定負債		
長期借入金	105,500	35,250
リース債務	144,507	88,181
退職給付引当金	471,412	487,817
資産除去債務	435,943	461,532
その他	435,390	435,390
固定負債合計	1,592,752	1,508,170
負債合計	5,479,786	5,298,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,680	1,701,680
利益剰余金	10,176,060	11,133,473
自己株式	△17,674	△18,646
株主資本合計	13,485,429	14,441,870
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△4,379	△3,050
評価・換算差額等合計	△4,379	△3,050
純資産合計	13,481,049	14,438,819
負債純資産合計	18,960,836	19,737,764

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	14,566,449	15,839,502
売上原価	3,900,261	4,332,899
売上総利益	10,666,187	11,506,602
販売費及び一般管理費	8,646,619	9,455,294
営業利益	2,019,568	2,051,307
営業外収益		
受取利息	1,221	994
受取配当金	7,313	7,667
受取賃貸料	4,068	1,013
保険差益	5,179	2,749
その他	5,244	8,130
営業外収益合計	23,027	20,556
営業外費用		
支払利息	8,161	4,266
固定資産除却損	7,548	15,232
リース解約損	1,868	314
その他	6,872	8,233
営業外費用合計	24,450	28,046
経常利益	2,018,144	2,043,817
特別利益		
固定資産売却益	—	1,466
受取補償金	44,708	—
特別利益合計	44,708	1,466
特別損失		
固定資産除却損	16,112	1,917
固定資産売却損	1,937	324
リース解約損	615	—
減損損失	12,860	17,073
特別損失合計	31,526	19,315
税引前四半期純利益	2,031,326	2,025,968
法人税等	860,728	804,344
四半期純利益	1,170,598	1,221,624

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,031,326	2,025,968
減価償却費	524,876	597,972
減損損失	12,860	17,073
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	△347	15,478
退職給付引当金の増減額(△は減少)	18,319	16,404
受取利息及び受取配当金	△8,534	△8,662
支払利息	8,161	4,266
固定資産除売却損益(△は益)	31,099	15,120
売上債権の増減額(△は増加)	△2,190	△3,060
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	△30,964
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,539	△17,991
仕入債務の増減額(△は減少)	84,717	93,631
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△295,052	△27,910
その他	622	△5,595
小計	2,410,028	2,691,611
利息及び配当金の受取額	8,424	8,822
利息の支払額	△7,874	△4,015
法人税等の支払額	△736,201	△906,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,674,375	1,789,687
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,050,000	△50,000
定期預金の払戻による収入	1,100,000	1,050,000
有形固定資産の取得による支出	△646,887	△2,010,685
有形固定資産の売却による収入	2,700	2,272
無形固定資産の取得による支出	△4,446	△6,345
敷金及び保証金の差入による支出	△131,178	△224,918
敷金及び保証金の回収による収入	65,993	55,017
その他	△4,682	△3,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668,501	△1,187,671
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△172,000	△140,250
リース債務の返済による支出	△62,047	△60,342
自己株式の取得による支出	△4,154	△972
配当金の支払額	△232,247	△264,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△470,449	△465,784
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	535,424	136,231
現金及び現金同等物の期首残高	3,308,703	3,587,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,844,128	3,723,617

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

①業態別売上高

(単位：千円)

期別 業態区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)			(参考) 平成25年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	291	14,014,520	96.2	313	15,187,848	95.9	298	28,415,123	96.3
その他業態	14	503,862	3.5	20	604,038	3.8	16	1,001,746	3.4
その他	—	48,066	0.3	—	47,614	0.3	—	103,935	0.3
計	305	14,566,449	100.0	333	15,839,502	100.0	314	29,520,805	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。
3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。
4. 「その他業態」は、「焼鳥日高」等を含めております。
5. 「その他」は、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位：千円)

期別 地域区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)			(参考) 平成25年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	162	7,892,535	54.2	176	8,549,776	54.0	166	15,997,047	54.2
埼玉県	87	3,835,435	26.3	90	4,012,153	25.3	88	7,607,743	25.8
神奈川県	33	1,671,120	11.5	40	1,947,536	12.3	35	3,462,221	11.7
千葉県	23	1,167,357	8.0	26	1,287,941	8.1	24	2,417,901	8.2
栃木県	—	—	—	1	42,094	0.3	1	35,891	0.1
計	305	14,566,449	100.0	333	15,839,502	100.0	314	29,520,805	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

- | | | | | |
|------------------|----------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 1. 朝霞台南口店 | 2. 焼鳥日高 朝霞台南口店 | 3. ボーノ相模大野店 | 4. 東久留米東口店 | 5. 松原団地駅西口店 |
| 6. 新橋栄通店 | 7. 秋葉原駅南店 | 8. 馬喰町西口店 | 9. 立川南口駅前店 | 10. 梅島駅前店 |
| 11. 馬車道海岸通店 | 12. 八丁堀新大橋通店 | 13. 小田急マルシェ相武台店 | 14. 小田急マルシェ伊勢原店 | 15. 焼鳥日高 中井駅前店 |
| 16. 富士見台南口店 | 17. 平塚パールロード店 | 18. 戸塚西口店 | 19. 田園調布東口店 | 20. 京成八幡駅前店 |
| 21. 焼鳥日高 京成八幡駅前店 | 22. 赤羽西口店 | | | |

〔閉鎖店舗〕

- | | | |
|-----------|----------|--------------|
| 1. 立川柴崎町店 | 2. 武蔵浦和店 | 3. 平塚パールロード店 |
|-----------|----------|--------------|

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。平塚パールロード店は近隣地に移転しての再オープンです。